

1. 導入機能の整備イメージ

1.1 整備施設

基本構想やサウンディング調査の結果を踏まえ、「道の駅」の導入機能及び整備施設を以下のように設定します。

表：導入機能と整備施設

導入機能		整備施設
道の駅の 基本機能	休憩機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間利用可能な駐車場 ・ 24 時間利用可能なトイレ ・ その他施設（無料休憩スペース・サイクルステーション・パウダールーム等）
	情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合案内所 ・ 情報提供コーナー（情報端末） ・ その他施設（ふるさと納税自販機等）
那珂で つながる機能	「食」で つながる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産物直売所 ・ 特産品等の物販施設 ・ 飲食施設（レストラン・フードコート・テイクアウト・ベーカリー・カフェ等） ・ 加工施設
	「暮らし」で つながる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティスペース（多目的室・会議室等） ・ その他施設（コワーキングスペース・チャレンジショップ・ATM 等）
	「体験」で つながる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根付イベントスペース ・ 体験スペース（農業・食・文化等） ・ その他施設（BBQ スペース・ドッグラン等）
	「子育て」で つながる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生広場（アスレチック遊具・水遊び場） ・ 屋内こども遊び場（全天候型プレイゾーン・一時預かり所） ・ その他施設（ベビールーム・授乳（調乳）室・こども用（親子用）トイレ・オムツ自販機・優先駐車場等）
	「デジタル」で つながる機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ Wi-Fi ・ POS システム ・ デジタルサイネージ ・ その他施設（キャッシュレス決済・多言語対応 QR コード・MaaS 等）

導入機能		整備施設
I C近接の 立地を活かし た機能	交通結節機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速バス・タクシー停留所 ・ パーク＆ライド（専用駐車場） ・ その他施設（ETC2.0・EV 等充電ステーション）
	防災拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災倉庫 ・ 蓄電（発電）設備 ・ 自家消費型太陽光発電設備 ・ 防災井戸 ・ 防災用トイレ ・ 貯水タンク ・ ヘリポート（臨時駐車場）

※整備施設は、今後の検討により変更となることがあります。

※なお、次節以降に示す整備イメージは、ハード整備の方向性及び運営者に期待するソフト事業の方向性を表すものであり、特に「那珂でつながる機能」については、「道の駅」が多くの人に親しまれる（他道の駅との差別化を図るうえでの）重要なコンテンツとなるような取組として、運営者とともに継続的に検討を行っていきます。

1.2 「道の駅」の利用シチュエーションの検討

「道の駅」における主な利用シチュエーションでの行動イメージを以下のように想定し、次節以降では、それぞれの導入機能についての整備施設のイメージを設定します。

表：主な利用シチュエーションでの行動イメージ

主な利用 シチュエーション	行動イメージ
道路利用者の 立ち寄り	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ休憩場所として利用する。 ・テイクアウトやドライブスルー等で軽食を購入し、休憩スペース等で食事をする。 ・気象情報、道路交通情報を収集し、安全運転に役立てる。 ・高速道路に乗る前、降りた後の休憩目的で立ち寄る。 <p>など</p>
地元・周辺住民の 日常利用	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物等の日常的な買物をするための場所として利用する。 ・贈答品、お土産を買うための場所として利用する。 ・レストランで、友人と会話しながら食事を楽しむ。 ・各種教室やワークショップを企画する、利用する。 ・マルシェで農産物を出品する、クラフト市に出品する。 <p>など</p>
観光客への おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ツーリングやドライブ、サイクリング等の立ち寄り場所として利用する。 ・那珂市内や県北地域の観光情報等を収集するために立ち寄る。 ・地元の新鮮な農産物や特産品等を買求める場として利用する。 ・イベントやBBQ等で道の駅に滞在し、目的地として休日を過ごす。 ・限定のスイーツや料理等を味わい、お土産を買って帰る。 <p>など</p>
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	<ul style="list-style-type: none"> ・広い遊び場スペースや遊具等が充実し、安心して遊べるため、子どもが行きたがる。 ・親子（多世代）で楽しめるイベントに参加する。 ・ベビールームや授乳スペース等が充実しているため、安心して子連れで出かけられる。 ・遊びや食事、買物まで、家族やお友達と一日楽しめる。 <p>など</p>

1.3 「道の駅」の基本機能

(1) 休憩機能

【導入機能の基本方針】	
道路利用者及び地域住民が気軽に立ち寄れ、快適に休憩できるスペースの整備	
【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
道路利用者の立寄り	・安心、安全に利用できる駐車場、トイレ ・快適な休憩スペース
地元・周辺住民の日常利用	・日常的に集い、くつろげる休憩スペース
観光客へのおもてなし	・ゆとりある動線やアプローチ、清潔なトイレ
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・子連れや高齢者でも安心して利用できる駐車場や トイレ

① 駐車場のイメージ

○ 駐車場利用者の安全確保

- ・ 近隣住民や周辺の道路利用者の通行の妨げとならないよう、適切な駐車ます数を設定します。
- ・ 歩行者動線と車両動線を明確に区分し、車場から建物への安全性に配慮した施設配置を検討します。
- ・ 駐車場内では、誘導案内板の設置や路面表示等により適切な誘導を行うこととし、利用者の安全確保に努めます。
- ・ 車いす使用者や身体障がい者の安全かつ円滑な通行のため、通路に段差を設けないこととし、転倒防止のために平坦性を確保するとともに、滑りにくい仕上げとします。
- ・ 視覚障がい者の安全かつ円滑な通行のため、通路に誘導ブロックを設置します。
- ・ 安全確保のため、小型車と大型車が交錯しないように、可能な限り駐車スペースを分離するほか、利用者の安全を確保するため、歩行者の通行スペースを確保します。
- ・ 照明の配置や防犯カメラ等の設置により、駐車場内の防犯・安全対策を講じます。

○ ゆとりある駐車スペースの確保

- ・ ベビーカーや車いす、キャンピングカー等、多様な利用者が安全に乗降できる幅の広いゆとりある駐車スペースを確保します。
- ・ 障がい者等用駐車スペースは屋根付きとし、バリアフリーで主要な施設にアクセスしやすい位置へ整備するとともに、妊産婦などが利用できることを示す標識の設置を検討します。
- ・ 車いすを伴わない障がい者や怪我人、高齢者や妊産婦など、移動に配慮が必要な方にも利用しやすい「思いやり駐車場」の導入を検討します。

○ 環境配慮・その他

- ・ 駐車場への植栽により木陰を多くし、車内温度の上昇を抑えるとともに、道路利用者を迎える玄関口として、田園景観と調和した施設整備を検討します。
- ・ サイクリングやバイクツーリングを楽しむ利用者に配慮した、屋根付きの二輪車用駐車スペースの設置を検討します。
- ・ 自立しないスポーツ用自転車のスタンドの設置を検討します。
- ・ 施設へのアクセス性を高めるため、タクシー乗降スペース（予約制乗合タクシー含む）の設置を検討します。
- ・ 近年の電気自動車の普及に鑑み、電気自動車（EV）充電施設等の設置を検討します。
- ・ ソーラーカーポート等の設置を検討し、エネルギーの地産地消に取り組みます。
- ・ 災害発生時には、広いスペースを活用し、一時避難場所としての利活用を検討します。



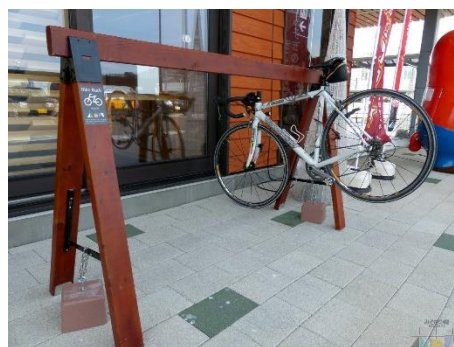
（出典：四国地区道の駅連絡会）
歩車分離に配慮した駐車場
（道の駅 いたの）



（出典：道の駅公式サイト）
屋根付きの駐車スペース
（道の駅 かさま）



（出典：道の駅公式サイト）
EV 充電器
（道の駅 のん太の酒蔵）



（出典：道の駅公式サイト）
サイクルスタンド
（道の駅 みそぎの郷きこない）

② トイレ等のイメージ

- 施設の規模に応じた適切な器数の設定、配置の検討を行います。
- 道路利用者をはじめ、道の駅を訪れた誰もが安心して快適に利用でき、24 時間利用可能なユニバーサルデザインに配慮したトイレの整備を図ります。
- 高齢者や体の不自由な方をはじめ、LGBT など様々な利用者へ配慮した多目的トイレを設置するとともに、オストメイト対応の設備を検討します。
- ベビーカーのまま入れるトイレやこどもの見守りができるキッズトイレ、おむつ替えスペースを男女のトイレ内に設置するなど、こども連れの利便性や安全性に配慮します。
- 女性客への配慮として、きれいで使いやすいパウダールームの設置を検討します。
- トイレの清潔さが利用者満足度に影響を与えることから、照明や壁の色等の工夫により、道の駅を訪れる人をおもてなしする、明るく清潔な、綺麗で開放感のある施設計画に努めます。
- 災害発生時にも、発電機や給水タンクなどにより利用できるトイレの整備を検討します。



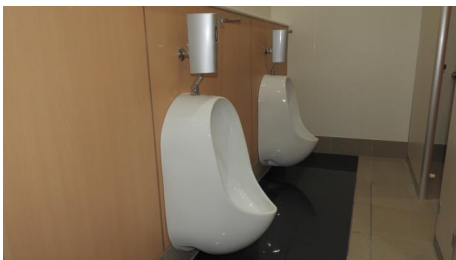
(出典：道の駅公式サイト)

24 時間利用可能なトイレ
(道の駅 かみしほろ)



(出典：道の駅公式サイト)

子育て世代に配慮したトイレ
(道の駅 サーモンパーク千歳)



(出典：新潟県 HP)

子どもトイレ
(道の駅 たがみ)



(出典：道の駅公式サイト)

パウダールーム
(道の駅 越前おおの荒島の郷)

③ その他休憩施設のイメージ

- 施設利用者がゆっくりと快適に休憩できるスペースを確保します。
- 道路利用者だけでなく、市内の住民も日常的に集い、くつろぐことができるスペースの設置を検討します。
- 多くの場所にベンチやテーブル等を設置し、休憩のためのスペースを提供します。
- LED照明や天窓を採用するなど、明るい空間づくりを目指します。
- 近年のスマートフォンや SNS 等のインターネット環境の普及に配慮し、Free Wi-Fi や無料の充電スペースなどの設置を検討します。
- 利用者の疲労回復やリフレッシュのため、シャワー室や足湯の設置を検討します。
- 子供連れの利用者に配慮した、居心地が良く使いやすいキッズスペースの設置を検討します。また、子育て応援施設として、乳幼児に対する授乳やおむつ交換が可能なスペースとしてベビーコーナーを併設し、子育て世代が気軽に利用できる環境づくりを目指します。
- 24 時間営業による道の駅全体の防犯性の確保を目的として、コンビニの配置を検討します。なお配置に当たっては、整備コンセプトを阻害しないよう、景観的調和に配慮することとします。
- 空気入れや工具セット等の物品を常時配備し、給水などのサービスによりサイクリストを温かくもてなす「サポートステーション」としての活用を検討します。
- 災害発生時には、一時避難所などとしての利活用を図ります。



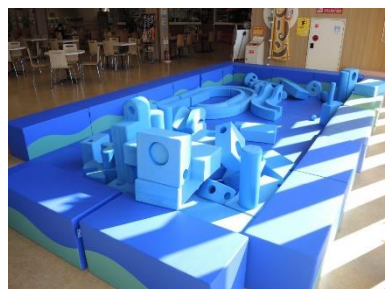
(出典：道の駅公式サイト)
コンビニエンスストア
(道の駅 まくらがの里こが)



(出典：道の駅公式サイト)
シャワーブース
(道の駅 グランテラス筑西)



(出典：美波町公式 HP)
足湯
(道の駅 日和佐)



(出典：道の駅公式サイト)
キッズルーム
(道の駅 サーモンパーク千歳)

(2) 情報発信機能（情報提供コーナー・無料休憩スペース）

【導入機能の基本方針】	
道路利用者の安全の確保、及び地域の魅力を発信し、 観光周遊の起点となる情報発信の場の整備	
【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
道路利用者の立寄り	・リアルタイムな道路情報が得られる
地元・周辺住民の日常利用	・地域の情報やイベント情報が得られるコーナー
観光客へのおもてなし	・道の駅で開催中のイベント、那珂市内や県北地域の観光情報が得られるコーナー
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・地域の情報やイベント情報が得られるコーナー

○ 道路利用者への情報提供

- ・ 常磐道や国道 118 号等の道路情報や災害情報など、道路利用者にとって必要な最新情報が 24 時間簡単に確認できるように情報モニターや周辺道路地図を設置します。
- ・ 道路情報や災害情報、緊急医療情報等、施設利用者が必要とする情報をリアルタイムで発信することを目指します。

○ 情報発信機能

- ・ 本市の自然資源、歴史資源等、多様な地域資源の情報や県北地域の観光情報を収集し、情報発信を行います。
- ・ 道の駅の新たな魅力の提供や、利用者ニーズに寄り添った情報提供を行うため、コンシェルジュの配置を検討します。
- ・ 利用者へのリアルタイムな情報提供を行うため、電子看板（デジタルサイネージ）や情報端末（タブレット等）の活用を検討します。
- ・ 外国人観光客にも対応できるよう、QR コード等を用いて、情報提供を行うことを検討します。
- ・ Free Wi-Fi サービスを実施し、個人のスマートフォンやタブレットを通じて検索サービスの充実を図ります。
- ・ 道の駅利用者に、就労情報や移住定住情報などを提供し、本市への移住定住の拡大を図ります。また、ふるさと納税自販機を設置し、取組の周知・促進を図ります。



(出典：道の駅公式サイト)

広々とした休憩スペース
(道の駅 かみしほろ)



(出典：道の駅公式サイト)

市内・県内の情報発信を行う観光案内所
(道の駅 米沢)



(出典：栗東市 HP)

QR コードを用いた多言語対応の例

1.4 那珂でつなげる機能

(1) 「食」でつなげる機能

【導入機能の基本方針】	
那珂市の農畜産物や特産品の PR によるブランド化を推進する施設、及び新規就農を促進する場の提供	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅内で購入したものを食べられるスペース ・気軽に利用できるテイクアウトやドライブスルー等
地元・周辺住民の日常利用	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な買い物ができる充実した品ぞろえの農畜産物直売所 ・土産物の購入等にも使える魅力的な商品がある特産品販売コーナー ・日常的に利用できる落ち着いた飲食コーナー ・「食」を通じた地域住民の交流、地域住民と来訪者の交流ができる場所
観光客へのおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した品ぞろえの農畜産物直売所、特産品の販売コーナー ・限定商品(スイーツ、加工品等)や限定の料理が食べられるコーナー
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども連れでも、ゆっくりと楽しめる飲食スペース

① 直売・物販施設のイメージ

- ・ 地場産品の新鮮さや安全性、取扱品目等を PR し、生産の拡大を支援するため、農畜産物直売所の整備を図ります。
- ・ 那珂市で生産・加工した「採れたて・できたて」を味わえる商品を提供するとともに、地域住民が日常的に使ってもらえるよう配慮し、市場で需要がある産品（野菜等）を豊富に取り扱う体制を検討します。
- ・ すれ違いに配慮した通路幅の確保など、車いすやベビーカーでもゆっくりと買い物ができるように配慮します。
- ・ 新鮮な農産物の見せ方について、陳列棚の仕方や照明など、商品陳列に配慮します。
- ・ 来訪者に新鮮な農産物の良さを伝えるため、生産者とともに魅力の伝え方を考え、生産者情報の表示や生産者ならではの調理レシピ等の付加価値情報を提供し、楽しみながら美味しさを知ってもらえるような取組を行います。
- ・ 地域の商業と連携し、市内の商店やその名産を PR するため、PR コーナーの設置を検討します。
- ・ 来訪者が気軽に利用できるよう、地元食材を利用した特徴あるメニューの提供を行う軽食コーナーや日常的な購買ニーズに対応するための販売スペースを確保します。

- 旬の野菜や珍しい野菜にはレシピを添えて販売するなど、地場産品に関する情報提供を行います。
- POS システムの活用などにより、出荷者の利便性向上に努めます。
- 那珂市と縁のある地域や近隣道の駅との連携による物産販売を検討します。
- 出荷者や従業員が使いやすく、利用者と動線が交差しない施設配置を検討します。
- バックヤードは、各売場との行き来が容易なゆとりのある動線を確保し、雨天時でも濡れずに作業ができるヤード・荷捌きスペース、生鮮食品や冷蔵の加工品等を管理できる十分な保管スペース等を検討します。
- 広域ネットワークを活かし、他地域の特産品の販売を行うとともに、他地域での那珂市の特産品の販売を促進します。



(出典：道の駅公式サイト)

農産物直売コーナー
(道の駅 しもつけ)



(出典：道の駅公式サイト)

直売所棟
(道の駅 しょうなん (てんと))

② 飲食施設のイメージ

- 那珂市で生産・加工された産品を活かしたメニューを提供できる飲食施設の整備を図ります。
- 那珂市の農産物・加工品の魅力や美味しさを味わえる地産レストランの設置を検討し、生産者との地域連携を強みとしたサービスの展開を図ります。
- 来訪者だけでなく、地元住民がゆっくりと食事を楽しんでもらえるようなゆとりのあるスペースの確保に努めます。
- 食品残さの堆肥化に取り組み、リサイクルに必要な施設計画を検討します。
- 子ども連れや車椅子利用の方でもゆっくりと食事が楽しめるゆとりあるスペース・通路を確保し、車いすが入れる高さのテーブルを設置します。
- 地元の食材を使ったメニューを提供するレストラン、フードコート、BBQ スペース等の施設整備を検討します。
- プレミアムレストラン、手軽なテイクアウトやフードコートなど、ターゲットを考慮した整備を検討します。
- ニューノーマルに対応したドライブスルーカフェ等の飲食施設の整備を検討します。



(出典：全国道の駅連絡会)

飲食スペース
(道の駅 かさま)

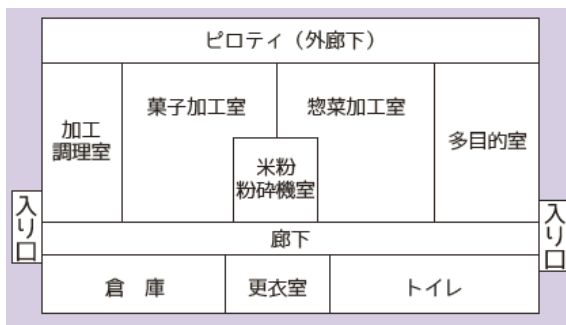


(出典：道の駅公式 HP)

飲食スペース
(道の駅 かみしほろ)

③ 加工施設のイメージ

- 地場産品を活かし、新たな魅力を提供できる加工施設の整備を図ります。
- 那珂市の農産物・特産品に新たな魅力・付加価値をもたせた商品（加工品）を開発し、製造する施設の整備を検討します。
- 利用者に加工品の安心安全をアピールするため、加工施設は、見て楽しむことができ、生産過程が見えるように配慮します。
- 道の駅限定スイーツ等、ここでしか食べられないオリジナル商品の開発を検討します。



(出典：東金市 HP)

農産物加工場
(道の駅 みのりの郷東金)

(2) 「暮らし」でつながる機能

【導入機能の基本方針】	
地域住民が日常的に集い、気軽に利用できる施設、及び就業・移住等の支援の場の提供	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	－
地元・周辺住民の日常利用	・フレキシブルな利用が可能なコミュニティスペース、雇用の場の確保
観光客へのおもてなし	・就業や移住相談等の窓口
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	－

① コミュニティスペースのイメージ

- ・ 利用者の様々な用途に合わせ活用できる施設形態を検討します。
- ・ 道の駅でのイベントや地域サークル活動、研修会や会議など、多様な目的に合わせて利用できるフレキシブルな施設整備を検討します。
- ・ 団体客等を受け入れる際の会議室、食事場所としての利用を考慮した整備を検討します。
- ・ 利用効率を高めるため、可動式パーテーションで一つの部屋を分割して利用できるような施設設計を検討します。

② その他施設のイメージ

- ・ 周辺住民が利用しやすい銀行 ATM、郵便ポスト等の設置を検討します。
- ・ 観光情報の案内に加え、那珂市への就業・移住相談等を行うコンシェルジュ機能の設置を検討します。



(出典：道の駅公式サイト)

多目的展示室

(道の駅 のん太の酒蔵)



(出典：道の駅公式サイト)

コミュニティスペース

(道の駅 みそぎの郷きこない)

(3) 「体験」でつながる機能

【導入機能の基本方針】	
地域外からの来訪者、地域住民、生産者等が集い、体験や多世代交流ができる場の提供	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	－
地元・周辺住民の日常利用	・来訪者と地域住民との交流促進 ・地域のサークルの発表や展示が可能な施設
観光客へのおもてなし	・充実した各種イベントの実施が可能なスペース
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・親子で楽しめるイベントの実施

① 屋根付イベントスペースのイメージ

- ・ 新たな交流から賑わいが創出されるような施設の整備を図ります。
- ・ 来訪者と地域住民の交流を創出するため、音楽フェスや産直市、マルシェやクラフト市などのイベント等が実施できる施設を検討します。
- ・ チャレンジショップや移動販売など、定期的にキッチンカーが出店できるような体制づくりを検討します。
- ・ 市民が主催・参加するイベントの開催や市民団体・サークル・学生等の活動発表の場となるような施設の整備を検討します。

② 体験スペースのイメージ

- ・ 那珂市の地域資源を活用し、来訪者が楽しみながら体験できる施設の整備を図ります。
- ・ 四季折々の野菜や果物などの収穫体験や工芸等の製作体験など、那珂市の地域資源を活かした体験メニューを検討します。
- ・ 周辺農家や企業、福祉施設等と連携した農業体験や、スマート農業の実証実験等を検討します。
- ・ 道の駅の直売所やレストラン、加工所等で取り扱う特徴ある作物（需要のある作物等）を随時生産できるほ場の整備を検討します。

③ その他施設のイメージ

- ・ ペット同伴による外出が増加していることから、ペット連れにも滞在しやすい環境づくりに努め、ドッグランの整備を検討します。
- ・ 地元食材を使ったセットメニューを取り揃えた BBQ スペース等の施設整備を検討します。



(出典：道の駅公式サイト)

屋根付きイベントスペース
(道の駅 グランテラス筑西)



(出典：道の駅公式サイト)

ドッグラン
(道の駅 のん太の酒蔵)



(出典：道の駅公式サイト)

道の駅直営のほ場
(道の駅 奥伊勢おおだい)



(出典：道の駅公式サイト)

マルシェ
(道の駅 伊豆ゲートウェイ函南)

(4) 「子育て」でつながる機能

【導入機能の基本方針】	
子育て世代の目的地となるような子育てに温かい場の提供	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	－
地元・周辺住民の日常利用	・公園的な利用が可能な広場
観光客へのおもてなし	・公園的な利用が可能な広場
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・子どもの遊びの目的地となる遊びスペース ・子連れでも安心して利用できる充実した設備

① 芝生広場・アスレチック遊具のイメージ

- ・ こどもが屋外でのびのびと遊び、休憩できる芝生広場を整備します。
- ・ アスレチック遊具は、多数の子どもが同時に遊べる広さを有するものとし、安全性や保護者の目が届きやすい設計とします。
- ・ 近隣の公園や他施設との差別化に加え、インクルーシブ化に配慮した遊具の設置を検討します。
- ・ 平常時は遊び・憩いの場として活用し、災害時には避難場所としての活用を視野に入れた整備を検討します。

② 屋内こども遊び場のイメージ

- ・ 子育て世代の来訪を促すことを目的とし、子育て支援や利用者の交流の場として、雨天時や真夏でも各年齢層の子どもが安全に遊ぶことができ、保護者も安心して見守れる全天候型プレイゾーンの整備を検討します。
- ・ 設置場所については、カフェや直売所の近くとなるよう配慮します。

③ その他施設のイメージ

- ・ 子どもを持つ家族が快適かつ安心して地域利便施設を利用できるよう、授乳・オムツ替えなどができる子育て応援施設やキッズスペースの設置を検討します。
- ・ ベビーカーのまま入れるトイレやこどもの見守りができるキッズトイレ、おむつ替えスペースを男女のトイレ内に設置するなど、こども連れの利便性や安全性に配慮します。



(出典：道の駅公式サイト)



(出典：道の駅公式サイト)

全天候型プレイゾーン
(道の駅 ふくしま)



(出典：道の駅公式サイト)

アスレチック遊具
(道の駅 川場田園プラザ)

(5) 「デジタル」でつながる機能

【導入機能の基本方針】	
ICT、IoT、AI 等を活用し、多様なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービス等の提供	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	・施設の混雑情報等を離れていても確認できる
地元・周辺住民の日常利用	・毎日更新される道の駅の情報に常にアクセスできる
観光客へのおもてなし	・道の駅のイベントやお得な情報をデジタルサイネージや、スマートフォン等から閲覧できる
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・道の駅のイベントやお得な情報をデジタルサイネージや、スマートフォン等から閲覧できる

- ・ SNS 発信（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）による認知度の向上を図ります。
- ・ POS システムの活用などにより、出品者の利便性の向上に努めます。
- ・ PC やスマートフォンなどから、いつでもどこでも商品を購入することができる EC サイト等を活用し、農産物や特産品の販路拡大につなげます。
- ・ 販売計画や運営計画に活かすことを想定し、道の駅の利用状況に関するデータの取得が可能な Wi-Fi やカメラ等の設備の導入を検討します。
- ・ AI による音声ガイダンスや手話認識、多言語案内などを導入し、国籍や障がいの有無等に関わらず、道の駅で提供するサービスを利用できるように努めます。
- ・ デジタルサイネージについては、ユーザー属性に応じたレコメンドを表示する等、施設の回遊や購買意欲の向上に活かすためのツールとしての活用を検討します。



(出典：恵庭市公式 HP)

デジタルサイネージ
(道と川の駅 花ロードえにわ)



(出典：道の駅公式サイト)

アプリで注文できるオンラインショップ
(道の駅 グランテラス筑西)

1.5 那珂 IC 近接の立地を活かした機能

(1) 交通結節機能

【導入機能の基本方針】	
IC 周辺の立地やアクセス性を活かした、交通利便性の向上が図れる施設の整備	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	・高速道路を一時的に退出し、利用が可能
地元・周辺住民の日常利用	・首都圏等に手軽にアクセスできる ・IC 周辺の交通拠点
観光客へのおもてなし	・高速道路を利用し、気軽に訪問することができる
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	・高速道路を利用し、気軽に訪問することができる

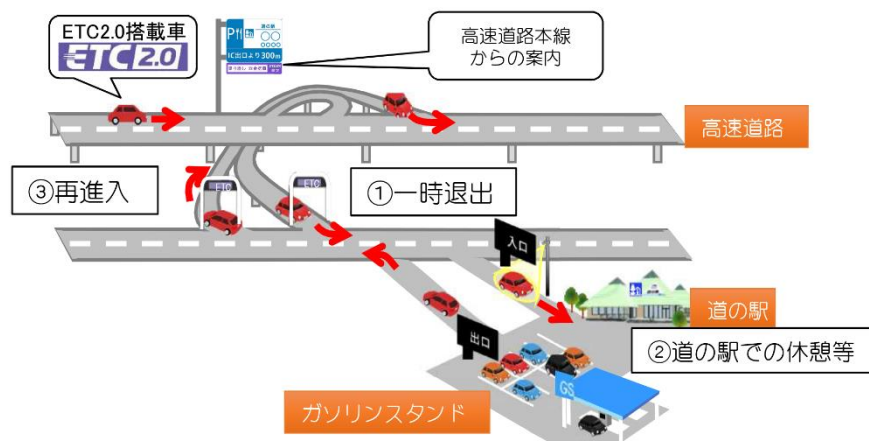
- ・ 本市や近隣に住む人が高速バスを活用して首都圏等に気軽に行くことができるよう、高速バス停留所の設置に加え、パーク＆バスライド用専用駐車スペースの整備を検討します。
- ・ 高速バス会社や運送会社と連携し、本市で生産された品物（農産物・加工品等）を市外に輸送するための物流体制の構築について検討します。
- ・ サイクリングやツーリングの拠点として利用しやすいサービスの提供及び施設整備を検討します。
- ・ 道路利用者へのサービスの充実を図るため、次世代型の交通手段の普及に配慮した施設整備を検討します。
- ・ 国土交通省では休憩施設の不足に対し、良好な運転環境を実現するため ETC2.0 搭載車を対象にインターチェンジに近接する一部の道の駅への立ち寄りを目的として、高速道路からの一時退出を可能とする社会実験を実施しています。本市の「道の駅」についても那珂 IC に近接することから、高速道路利用者の誘客促進のため、国への要望等を検討します。



(出典：道の駅公式サイト)

パークアンドライド

(道の駅 米沢)



(出典：国土交通省)

ETC2.0

(2) 防災拠点機能

【導入機能の基本方針】	
地域防災機能の充実、及び「広域的な防災拠点」としての整備を検討	
主な利用シチュエーションでの整備のポイント	
道路利用者の立寄り	※災害時における、道路利用者の一時的な避難場所
地元・周辺住民の日常利用	※災害時における、地域防災に寄与する施設
観光客へのおもてなし	－
こどもの遊び・体験 ファミリー利用	－

- 近年、頻発する集中豪雨や大規模地震などの自然災害発生時における避難所としての活用に加え、救援物資の集積場、救援隊の本部機能や支援活動拠点として利用できるスペースの設置を検討します。
- 災害時の広域的な防災拠点として利用できるよう、災害時でも使用できる水道、電気、トイレなどの整備を検討します。
- 地震や水害などの災害を想定し、一時避難所となり得る、防災のための施設整備を検討します。
- 災害時に施設利用者や近隣住民、帰宅困難者等が一時的に避難や救援サービスを受ける拠点として、防災備蓄倉庫や貯水タンク等の施設整備を検討します。
- 市民の防災意識を醸成するため、楽しみながら防災知識が身につけられるような防災イベントの実施を検討します。
- 有事の際においては、道の駅が有する駐車場や広場、飲食スペース等を利用し、災害復旧の支援活動拠点（支援車両・支援部隊等の集合待機場所、救援物資の供給場所など）や広域的な後方支援拠点として活用できる施設計画を検討します。
- 平常時は地域住民の活動場所として使えるコミュニティスペースを、災害時には応急活動の連絡調整場所として活用できるよう検討します。
- 災害発生に備えて、定期的な防災訓練等の実施を検討します。



(出典：国土交通省)

防災道の駅の例 (道の駅 パレットピアおおの)